

DX 企業講話 株式会社三葉製作所 様



講師

株式会社三葉製作所 技術部情報技術課 小林 様

講話内容

- ・ DX について（DX の取り組み、DX 人材とは）
- ・ 会社紹介、製品開発内容、押出成形技術の紹介 など

学生のワークシートから抜粋

【わかったこと・気づいたこと等】

- ・ プリンターやコピー機のゴムローラや各種ホース類の製造、ゴムやプラスチック製造や電線系の製図をしている。
- ・ 自動車の備品も作っていて、ラジエーターホースや燃料ホース、ボディシールなどを作っている会社だった。
- ・ それぞれのお客さんと話し合い商品を作っていく個別受注生産。
- ・ DX 人材：どうすれば“楽できるか”考える（企業の余裕を生み出す）
- ・ 1. 課題を見つける（身近に 3 M（ムリ、ムダ、ムラ）が無いか探してみる）
- ・ 2. 情報収集をする（生成 AI に聞いてみたり、事例を調べてみる）
- ・ 3. 課題とデジタル技術を結び付ける

【感想】

- ・ 楽をして余裕を産み出すことで、新しい物などに取り組めることがわかった。
- ・ 言われたことばかりをするのではなく、自分で考えて行動して課題を見つけていく、とすることができるようになるために頑張っていきたいです。
- ・ 3 M の考え方や情報収集など日頃から使っていることが大切なんだと思いました。

- ・次回はどのような部品を作っているのかを詳しく聞きたいです。
- ・身近なものでもその作り方は日々改善されていき、変化していつている。その変化する技術についていけるようにしたい。
- ・働いていくうえで、働きやすくしていくために、DX も必要だけれど、会社の中で課題を見つけて働きやすくしていくことも必要な力であるとわかった。
- ・日常的に課題を見つけ情報を収集して、課題とデジタル技術を結び付けるという習慣を付けていきたいです。
- ・DX は、自分の身の回りにひそんでいる。